

令和3年度 藍住町西クリーンステーション 環境測定結果

排ガス・焼却灰・飛灰

項目	単位	1回目	2回目	基準値 ^{※1, ※2}	
測定項目	—	令和3年9月14日	令和4年3月22日	—	
採取箇所		煙突採取口	煙突採取口		
排出ガス	ダスト濃度	g/m ³	0.04	0.06	—
	酸素濃度換算ダスト濃度	g/m ³	0.04	0.06	0.25 ^{※1}
	ダスト量	kg/hr	0.56	1.1	—
	硫黄酸化物濃度	volppm	10	18	—
	硫黄酸化物量	m ³ /hr	0.15	0.37	—
	K 値	—	<0.1	<0.1	13 ^{※1}
	窒素酸化物濃度	volppm	20	25	—
	酸素濃度換算窒素酸化物濃度	volppm	25	26	250 ^{※1}
	窒素酸化物量	m ³ /hr	0.31	0.52	—
	塩化水素濃度	mg/m ³	14	12	—
	酸素濃度換算塩化水素濃度	mg/m ³	17	13	700 ^{※1}
	水銀濃度（ガス状水銀）	μg/m ³	0.36	0.16	—
	酸素換算水銀濃度（ガス状水銀）	μg/m ³	0.42	0.17	—
	水銀濃度（粒子状水銀）	μg/m ³	<0.1	<0.1	—
	酸素換算水銀濃度（粒子状水銀）	μg/m ³	<0.1	<0.1	—
	全水銀（ガス状+粒子状水銀）	μg/m ³	0.42	0.19	—
	酸素換算全水銀（ガス状+粒子状水銀）	μg/m ³	0.49	0.20	50 ^{※1}
	ダイオキシン類濃度	ng-TEQ/m ³	0	—	10 ^{※2}
焼却灰中のダイオキシン類濃度	ng-TEQ/g-dry	0.0015	—	3 ^{※2}	
飛灰中のダイオキシン類濃度	ng-TEQ/g-dry	1.0	—	3 ^{※2}	
備 考		ごみ焼却施設 1,2号炉燃焼時	ごみ焼却施設 1,2号炉燃焼時	—	

※1：大気汚染防止法（昭和43年法律第97号）

※2：ダイオキシン類対策特別措置法施行規則（総理府令第67号：平成11年12月）

敷地境界悪臭

項目	単位	St-1 ステーション北道路	St-2 ステーション東道路	St-1 ステーション南道路1	St-2 ステーション南道路2	基準値 ^{※3}
試料採取日	年月日	令和3年11月11日		令和4年3月22日		—
試料採取時刻	時：分	11:15~12:00	12:05~12:50	13:25~14:15	14:20~15:05	—
天候	—	曇り	曇り	曇り	曇り	—
風向	—	W~WNW	WNW~W	N	N~NNW	—
風速	m/s	3.2	2.2	0.6	0.4	—
温度	°C	15.4	15.8	7.8	8.0	—
湿度	%	49	49	87	68	—
アンモニア	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1.5
硫化水素	ppm	0.0006	<0.0005	0.0012	0.0016	0.05
メチルメルカプタン	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003
硫化メチル	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.03
二硫化メチル	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.009
トリメチルアミン	ppm	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.005
アセトアルデヒド	ppm	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05

※3：悪臭防止法に基づく規制基準（徳島県告示第249号）